

ST-1型

ストレーナ

取扱説明書

この度はヨシタケ製品をお買上げ頂きまして誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全にご使用して頂くために、ご使用になる前に必ず本文を
お読みください。また、この書類は大切に保存して頂きますようお願い致します。

-----本文の中で使用されている記号は以下のようになっています。-----

警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

目次

概要	1
1. 特長	1
2. 仕様	1
3. 寸法及び質量	1
4. ご使用時の注意事項	
4.1 ストレーナの呼び径選定	2
4.2 配管の呼び径選定	2
5. ご使用時の警告・注意事項	3
6. ブラッシング作業終了後の製品取外し警告事項	3
7. 配管図例	3
アフターサービス	

概要

コーン形テンポラリーストレーナは各種パイプラインの除塵用、運転開始時のフラッシング用として、幅広く使用されています。

1. 特長

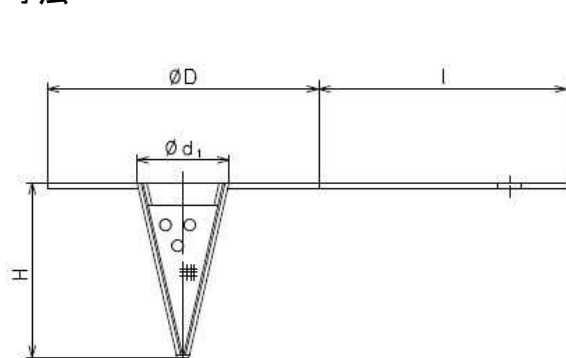
短管のフランジの間に装着する簡単なストレーナです。

2. 仕様

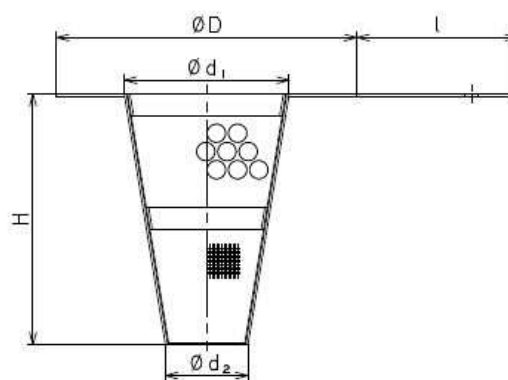
型 式	ST-1-10	ST-1-20	ST-1-30	ST-1-40
適 用 流 体	蒸気・空気・冷温水・その他非危険流体			
最 高 圧 力	1.0MPa	2.0MPa	3.0MPa	4.0MPa
最 高 温 度	220℃			
材 質	ステンレス鋼			
網 目	こ し 筒	φ8-11P		
	こ し 網	標準80メッシュ		

●ご指定により、こし網が20～250メッシュのものも製作致します。

3. 寸法



呼び径25A～65A



呼び径80A～300A

※150メッシュ以上及び高圧品は構造が異なります。

(mm)

呼び径	d ₁	d ₂	H	l	D			
					ST-1-10	ST-1-20	ST-1-30	ST-1-40
25A	24	—	46	65	71	71	76	76
32A	30	—	55	65	81	81	85	85
40A	38	—	73	65	86	86	97	97
50A	48	—	93	65	101	101	111	111
65A	60	—	118	65	121	121	137	137
80A	72	36	110	70	131	137	147	147
100A	95	48	135	70	156	162	170	180
125A	118	60	165	70	187	200	205	223
150A	142	72	195	85	217	235	248	262
200A	188	95	250	85	267	280	293	312
250A	235	119	330	85	330	353	357	377
300A	280	141	395	85	375	403	417	431

4. 呼び径選定

ストレーナを最も効果的に使用し、使用条件を最大限に満足させるには、次のようなことを考慮してください。

4. 1 ストレーナの呼び径選定

配管呼び径と同じ呼び径のものを選定します。(配管呼び径＝ストレーナの呼び径)小さな呼び径のものを使用するとストレーナの圧力損失が大きくなり、機器類の入口側において所定の圧力が保持出来ない場合がありますのでご注意ください。

4. 2 配管の呼び径選定

配管の呼び径選定をする場合は、使用流体、最大流量、許容圧力損失、配管設備費等を考慮する必要があります。

配管の呼び径が小さければ配管設備費等は少なくすみませんが、管内圧力損失は大きくなり乱流による管の摩耗速度増大・振動等が生ずる可能性があります。また大きすぎれば配管設備費の増大だけでなく熱損失も大きくなります。

そこで配管の適切な呼び径選定方法として日本工業規格(JIS)では流体の種類、性質及び管径により標準流速を定めておりますので参考にしてください。

流体の標準流速

流 体	摘 要	標準流速
飽 和 蒸 気	真空管又は小管径の補助管	15 m/s (10~20)
	大管径	30 m/s (20~40)
過 熱 蒸 気	管径 ϕ 75~250	40 m/s (30~50)
	高級材料管	70 m/s (65~80)
蒸気コイル入口	0.3~0.7MPa	30 m/s (25~30)
空 気	高圧(1.0MPa以上)	20 m/s (20~25)
	低圧	15 m/s (5~15)
	極低圧(0.1MPa以下)	10 m/s (3~10)
水 ・ 油	—————	2 m/s (2~ 4)

※本表は、JIS F7101(船舶機関部管内流速標準)の規定を参考に
して作成した、各流体の標準流速です。

5. ご使用時の警告・注意事項

⚠ 注意

- (1) 取付けは、出入口配管を間違えないよう取付けてください。
※取付け方向を間違えますと本来の性能が活かせません。
- (2) スクリーンを取り出すための空間を設けてください。

- (1) ストレーナの前後に圧力計を取り付けると、差圧により目づまりの状態を知ることができます。

⚠ 警告

- (1) 高温流体の場合は、素手で直接製品に触れないようにしてください。
※火傷をする恐れがあります。

⚠ 注意

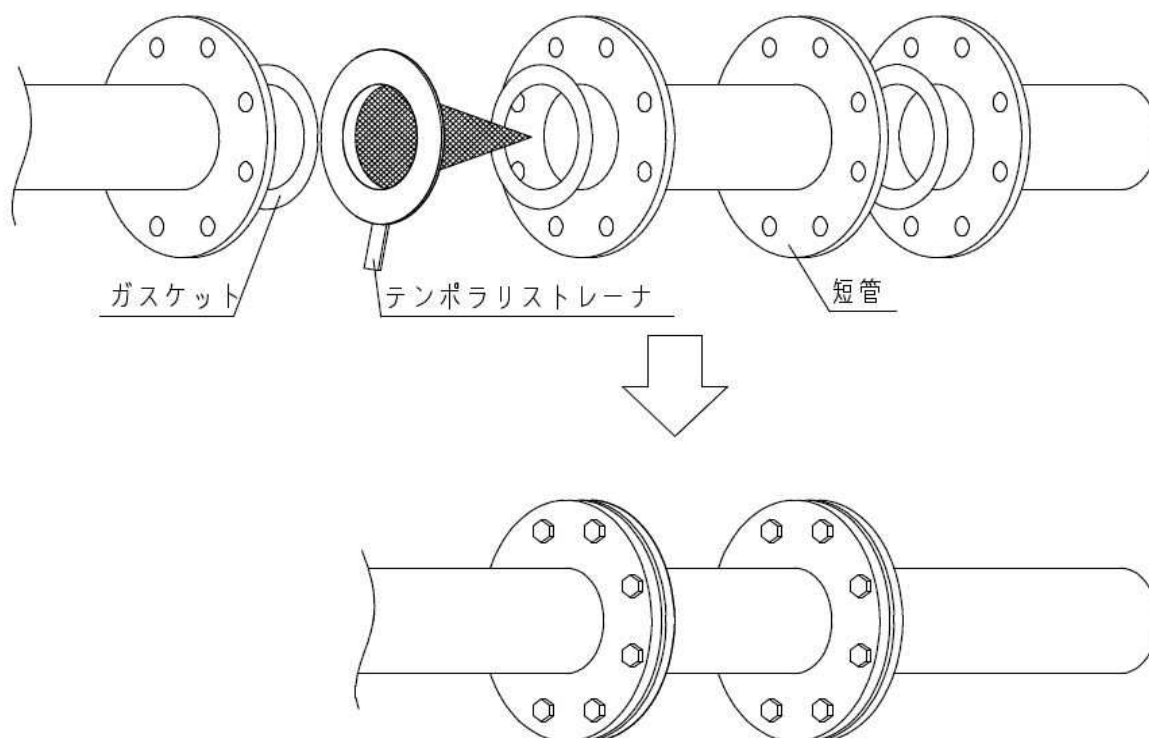
- (1) 最大圧力損失が0.1MPa以下でご使用下さい。又スクリーンは定期的に掃除してください。
※スクリーンが破損する恐れがあります。

6. ブラッシング作業終了後の製品取外し警告事項

⚠ 警告

- (1) 分解・点検する時は必ず製品・配管・機器の内部圧力を完全に抜いてから行って下さい。又、高温流体の場合は冷してから行ってください。
※残圧によってケガや火傷をする恐れがあります。

7. 配管図例



アフターサービスについて

1. 納入品の保証範囲及び保証期間

納入された製品は高度の技術と厳しい品質管理の基で製造いたしております。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正しくご使用ください。万一材料または製造上の不具合がありました場合には、無料で修理させていただきます。

納入品の保証期間は、ユーザー様に納入し試運転開始後1ヶ年とさせていただきます。

2. 製造中止後の部品の供給について

製品は予告なく製造中止、改良を行うことがございます。製造中止した製品の部品の供給は、中止後5年間とします。但し、個別契約に基づく場合は除きます。

3. 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。

(1)配管内のゴミ等による弁漏れ、または不安定作動が起こる場合。

(2)不当な取扱い、または使用による場合。

(3)消耗のはなはだしい部品などで、弊社から予めその旨申し出を行っている場合。

(4)異常水圧、異常水質等の供給側の事情による場合。

(5)水垢もしくは凍結に起因する場合。

(6)電源、空気源に起因する場合。

(7)弊社以外の不適當な改造がされた場合。

(8)設計仕様条件を超えた過酷な環境下(たとえば屋外使用による腐食の場合など)での使用による場合。

(9)火災、水害、地震、落雷その他天災地変による場合。

(10)消耗部品(たとえばテクニカルガイドブックに記載されているOリング、ガスケット、ダイヤフラムなど)

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので納入品の故障や瑕疵により誘発される損害については、含まれませんのでご了承ください。

4. 保証期間経過後、修理を依頼されるとき

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。なお、アフターサービスについては、弊社ホームページ(www.yoshitake.co.jp)のサポート&サービスからお問い合わせ窓口一覧より最寄りの営業所までご相談ください。